

平成30年度全国学力・学習状況調査
結果の分析と改善に向けて

平成30年10月1日（月）
日田市教育委員会

平成30年度全国学力・学習状況調査結果の分析と改善に向けて

1 調査の概要

(1) 実施期日

平成30年4月17日(火)実施

(2) 調査対象学年

小学校第6学年 中学校第3学年

(3) 調査内容

◇教科 小学校第6学年 国語A・B、算数A・B、理科
中学校第3学年 国語A・B、数学A・B、理科

◇質問紙調査(児童・生徒)

(4) 調査内容の説明

◇A:主として「知識」に関する問題

◇B:主として「活用」に関する問題

◇質問紙調査(児童・生徒)

・児童生徒を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

(5) 用語の説明

◇正答率:全設問に対して児童生徒が正答した割合(集団の場合は平均値)。

◇全国比:全国の平均正答率を100とみたときの日田市の割合。

2 結果の概要

【小学校6年生】

《平均正答率》※色付き部分は全国値以上

	小学校6年生				
	国語		算数		理科
	知識(A)	活用(B)	知識(A)	活用(B)	
日田市	74	57	66	54	64
大分県	72	56	65	52	63
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
全国比	104.7	104.2	103.9	104.9	106.1

【中学校3年生】

《平均正答率》※色付き部分は全国値以上

	中学校3年生				
	国語		数学		理科
	知識(A)	活用(B)	知識(A)	活用(B)	
日田市	77	62	69	47	69
大分県	77	62	66	45	67
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1
全国比	101.2	101.3	104.4	100.2	104.4

3 教科に関する調査結果の分析及び改善の方策

(1) 小学校 国語

①結果の概要

【国語A】

◇全領域・事項で全国を上回った。平成27年度以降全国を上回っている。

【国語B】

◇2領域・1事項で全国を上回った。平成27年度以降、平成27・29年度で全国を下回り、平成28・30年度で上回った。

②分析結果と課題

【国語A】 ○：できている点 ●：課題がある点

話すこと・聞くこと

○相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事柄などを挙げながら筋道を立てて話すこと。

書くこと

○自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えること。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

●文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書くこと。

●相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと。

【国語B】 ○：できている点 ●：課題がある点

話すこと・聞くこと

●計画的に話し合うために、司会の役割について捉えること。

書くこと

○目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えること。

●目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。

読むこと

○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと。

○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと。

③改善の方策・ポイント

◇相手や目的に応じ、主語と述語、修飾と被修飾との関係を明確にし、「誰が」「いつ」「どこで」「何を」「どのように」「なぜ」等の文の構成を整理して文章を書く学習を充実する。

◇司会者や提案者、参加者などの役割に基づいて、立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合うことや、自分の考えを比べ、共通点や相違点などを整理し、自分の考えをまとめる学習を充実する。

◇目的や意図に応じ、薦めたい事物についてよく認識し、確かな理由や根拠を明確にして、詳しく推薦文を書く活動を充実する。

(2) 小学校 算数

①結果の概要

【算数A】

◇全領域で全国を上回った。平成27年度以降全国を上回っている。

【算数B】

◇全領域で全国を上回った。平成27年度以降、平成27・28・30年度で全国を上回っている。

②分析結果と課題

【算数A】 ○：できている点 ●：課題がある点

数と計算

●除法で表すことができる二つの数量の関係を理解すること。

量と測定

○単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解すること。

図形

●円周率の意味について理解すること。

数量関係

○折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること。

【算数B】 ○：できている点 ●：課題がある点

数と計算

○示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現すること。

量と測定

○示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めること。

数量関係

●示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断すること。

●棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断すること。

③改善の方策・ポイント

◇計算の技能だけでなく、計算の意味について理解し、それらの計算の仕方を考える指導を充実する。

◇実際に幾つかの円について、観察や構成などの活動を行い、直径と円周の関係を考え見いだす活動を充実する。

◇日常生活の事象から問題を見いだして情報を収集し、表やグラフなどに整理して考えをまとめ、数学的に表現する活動を充実する。

◇日常生活の事象を、算数で学習した内容を基に解釈したり、事柄を適切に判断したり、判断した理由を数学的に表現したりする場面において、「説明する力を伸ばす基本形」を活用する学習を充実する。

(2) 小学校 理科

①結果の概要

【理科】

◇全区分で全国を上回った。平成27・30年度ともに全国を上回っている。

②分析結果と課題

【理科】 ○：できている点 ●：課題がある点

物質

- ろ過の適切な操作方法を身に付けること。
- より妥当な考えをつくり出すために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察すること。
- 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述すること。

エネルギー

- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを、実際の回路に適用すること。
- 実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善すること。
- 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用すること。

生命

- 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解すること。
- 調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析すること。
- 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用すること。

地球

- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解すること。
- より妥当な考えをつくり出すために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察すること。
- より妥当な考えをつくり出すために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述すること。

③改善の方策・ポイント

- ◇観察・実験で得られた結果を事実として、それを根拠にして考えることにより、結論を導き出し、記述する学習を充実する。
- ◇既習の内容や生活経験を、実際の自然や日常生活などに適応する学習を充実する。
- ◇問題解決の活動において、児童自身が常に問題に立ち返り、何を解決するための活動なのかを捉えさせる指導を充実する。
- ◇自然の事物・現象について、既習の内容や生活体験を関連させ、観察・実験の結果から考えを書き、説明し合う活動を充実する。
- ◇身近に起こりうる自然災害についても、理科を学習することの有用性を実感できる指導を充実する。

(4) 中学校 国語

①結果の概要

【国語A】

◇全領域・事項で全国を上回った。平成27年度以降、平成29・30年度で全国を上回った。

【国語B】

◇全領域・事項で全国を上回った。平成27年度以降、平成29・30年度で全国を上回った。

②分析結果と課題

【国語A】 ○：できている点 ●：課題がある点

話すこと・聞くこと

○話の論理的な構成や展開などに注意して聞くこと。

書くこと

○書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成すること。

●書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討すること。

読むこと

○段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てること。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

●目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと。

【国語B】 ○：できている点 ●：課題がある点

話すこと・聞くこと

○話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問すること。

書くこと

●目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと。

読むこと

○場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること。

●文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること。

③改善の方策・ポイント

◇考えの根拠を明確に示したり、より伝わりやすい段落構成を工夫したりするために、下書きを推敲して意見文を書く学習を充実する。

◇辞書や資料集などを活用し、ことわざや慣用句、故事成語などの意味を理解し、主語を明確にして、適切な文を書く指導を充実する。

◇図表が使われている説明や記録の文章を読む際に、図表が文章のどの部分と関連しているかを確認しながら読む活動を充実する。

◇事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして、内容を整理して書く活動を充実する。

(5) 中学校 数学

①結果の概要

【数学A】

◇全領域で全国を上回った。平成27年度以降全国を下回っていたが、平成30年度に上回った。

【数学B】

◇2領域で全国を上回った。平成27年度以降全国を下回っていたが、平成30年度に上回った。

②分析結果と課題

【数学A】 ○：できている点 ●：課題がある点

数と式

○絶対値の意味を理解すること。

●具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形すること。

図形

○見取図、投影図から空間図形を読み取ること。

関数

●一次関数の意味を理解していること。

資料の活用

●多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解していること。

【数学B】 ○：できている点 ●：課題がある点

数と式

○問題場面における考察の対象を明確に捉えること。

図形

●発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すこと。

関数

○グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈すること。

●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

③改善の方策・ポイント

◇具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べ、一次関数の意味を理解する学習を充実する。

◇不確定な事象についての観察や実験を行い、確率の意味を理解し、それをを用いて考え表現する活動を充実する。

◇証明を読み、振り返って新たにわかる事柄を考え、さらに発展的に考えて証明する学習を充実する。

◇実生活や社会における問題を数学を活用して解決するために、必要な情報を選択して数理的に処理したり、示された方法を場面に応じて適用したりする学習において、「説明する力を伸ばす基本形」を活用して説明する学習を充実する。

(2) 中学校 理科

①結果の概要

【理科】

◇全領域で全国を上回った。平成27年度は全国を下回っていたが、平成30年度は上回った。

②分析結果と課題

【理科】 ○：できている点 ●：課題がある点

物理的領域

- 実験の結果を示した表から電流の値を読み取ること。
- 豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘すること。
- 光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用すること。

化学的領域

- 濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものを指摘すること。
- アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けること。
- 炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘すること。

生物的領域

- 無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用すること。
- 植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けること。
- 神経系の働きについての知識を身に付けること。

地学的領域

- 初期微動継続時間の長さや震源からの距離の知識と音の速さに関する知識を活用すること。
- 風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用すること。
- 植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘すること。

③改善の方策・ポイント

- ◇身近な現象から問題を見いだして課題を設定し、見通しをもって観察・実験を行い、得られた結果を事実として、それを根拠にして考えることにより、結論を導き出し、記述する学習を充実する。
- ◇自然の事物・現象に関する先哲の見方・考え方に触れ、科学的に探求する活動を充実する。
- ◇モデルを使った実験の計画において、予想や仮設を確かめられるように、実験の装置や操作を自然の事物・現象に対応させる指導を充実する。
- ◇習得した知識・技能を日常生活と関連した他の領域に活用させ、自然の事物・現象を多面的、総合的に捉える活動を充実する。
- ◇理科の「見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象を質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などで捉え「めあて」「課題」を設定し、実験結果の分析・解釈を書いて、説明し合う活動を充実する。

4 児童・生徒質問紙調査結果について

- (1) 生活習慣・家庭での学習習慣等に関する回答状況（数値は肯定的回答の割合 %）
 ※色つき：全国値より5ポイント以上高い
 ※太線枠：全国値より5ポイント以上低い

【自尊意識・将来に対する意識・学校生活・規範意識等】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	86.6	83.1	84.0	83.2	80.2	78.8
将来の夢や目標を持っていますか	83.5	85.0	85.1	76.0	73.5	72.4
学校のきまりを守っていますか	93.0	89.9	89.5	96.5	95.4	95.1

【基本的な生活習慣・家庭での学習習慣】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
朝食を毎朝食べていますか	92.5	92.8	94.5	93.9	92.5	91.9
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	66.1	68.7	67.6	53.0	53.4	52.1
家で、学校の宿題をしていますか	97.0	97.0	97.1	95.0	92.6	91.6
④家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習におい教科書を使いながら学習していますか。	70.3	71.8	69.9	70.6	67.1	71.3

【社会に対する意識・地域との関わり】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	64.2	63.1	63.8	65.6	62.6	59.3
新聞を読んでいますか ※週に1回以上	17.4	15.8	19.9	14.2	13.4	13.9
地域社会などでボランティア活動などに参加したことがありますか	59.5	61.0	62.6	79.3	72.6	73.6
今住んでいる地域の行事に参加していますか	79.1	65.3	62.7	61.8	46.7	45.6

- (2) 教科の学習に対する関心・意欲・態度に関する回答状況

【読書（国語）に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
平日に、どれくらいの時間読書を読みますか ※1日当たり10分以上	64.2	66.2	66.2	41.3	48.1	53.5

【算数・数学に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
算数・数学の勉強は好きですか	61.4	62.0	64.0	58.6	53.3	53.9
算数の授業の内容はよく分かりますか	81.4	82.3	83.4	73.9	65.9	71.0
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	76.9	77.9	78.4	73.2	69.8	70.3
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.2	64.8	64.4	44.4	40.6	38.7
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	78.3	77.4	78.5	70.0	69.4	69.2
算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ（根拠）を理解するようにしていますか	82.2	80.2	80.4	70.8	68.8	70.4
今回の算数・数学の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く（解答を言葉や数、式を使って説明する）問題がありましたが、どのように解答しましたか ※全てで最後まで書こうと努力した	74.6	71.5	70.6	65.8	56.7	55.5

【理科に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
理科の勉強は好きですか	84.7	81.7	83.5	65.6	64.2	62.9
理科の授業の内容はよく分かりますか	89.4	89.0	89.4	69.2	68.8	70.0
観察や実験を行うことは好きですか	89.4	89.0	89.8	86.2	86.2	82.1
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.0	61.9	64.7	50.8	47.4	45.4
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	74.8	72.2	75.2	62.1	57.4	58.5
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか（考察していますか）	82.1	79.8	81.8	73.5	66.9	72.3
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	68.2	66.1	68.1	60.7	57.1	59.0
今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※全てで最後まで書こうと努力した	83.1	78.6	77.3	70.1	64.7	62.8

【授業改善・学習指導】※「主体的・対話的で深い学び」「新大分スタンダード」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	76.3	74.7	77.7	84.6	78.1	76.3
授業の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	75.1	77.0	76.7	80.0	74.2	73.8
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	64.5	59.2	61.0	61.2	52.7	53.8

(3) 児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

①分析結果と課題

【小学校】

- 多くの項目が全国と同程度であり、生活習慣・学習習慣ともに安定した数値を示している。自己肯定感の数値の向上が、生活や学習の安定につながっている。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の数値が、昨年度より8.4ポイント向上し、全国と同程度となった。自ら計画的に家庭学習に取り組む習慣を育成する取組の一層の推進が課題。
- 理科の項目の多くで、平成27年度から数値が向上しており、他の教科においても、新大分スタンダードにもとづく授業改善の充実・推進が図られている。児童一人ひとりの学力状況・学習状況に応じたきめ細かな指導の充実が求められる。

【中学校】

- 前年度まで多くの項目で上昇していた数値が、今年度わずかに下降したものの、全体として全国値と同程度以上の数値となった。生活習慣・学習習慣ともに安定した数値を示している。
- 「1日当たり10分以上読書をしている」数値が全国値を12.2ポイント下回っており、日常的な読書習慣を形成する取組を推進する必要がある。
- 理科の項目の多くで、平成27年度から数値が向上しており、他の教科においても、新大分スタンダードにもとづく授業改善の取組が確実に進んできている。教科部会による組織的な教科指導力向上の仕組みを構築していく必要がある。

②改善の方策

- ◇児童生徒の主体性を促すために、新大分スタンダードに基づく「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を適切に位置づけ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組を推進する。
- ◇学級活動や児童会・生徒会活動による仲間づくりの活動を充実させ、良好な学級文化を育み、目標を共有する「学びに向かう学習集団」の育成を図る。
- ◇児童生徒が主体的かつ計画的に家庭学習に取り組む習慣を形成するために、授業と連動したつきたい力の定着・向上につながる具体的な取組を家庭と協働して取り組む。

5 クロス集計について

(1) クロス集計結果の概要

① 児童生徒の1日当たりの読書時間と平均正答率の関係(平日)

学年	頻度	国語A	国語B	算・数A	算・数B	理科
小学校 6年生	1～2時間読む	77.9	58.7	67.5	57.8	65.5
	全くしない	69.3	50.5	63.8	50.1	62.5
中学校 3年生	1～2時間読む	80.3	67.6	71.8	54.6	71.7
	全くしない	75.4	58.9	68.1	45.7	67.6

② 児童生徒の新聞を読む頻度と平均正答率の関係(平日)

学年	頻度	国語A	国語B	算・数A	算・数B	理科
小学校 6年生	ほぼ毎日読む	73.1	54.6	67.8	55.7	64.1
	ほとんど・全く読まない	72.3	55.7	65.7	52.0	63.5
中学校 3学年	ほぼ毎日読む	77.6	70.4	72.9	50.3	72.1
	ほとんど・全く読まない	77.0	61.1	68.8	46.3	68.0

(2) 分析結果

- ① 「1日当たり1～2時間読む」と回答している児童生徒の方が、「ほとんど・全く読まない」と回答している児童生徒より、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。
- ② 「新聞をほぼ毎日読んでいる」と回答している児童生徒の方が、「ほとんど・全く読まない」と回答している児童生徒より、平均正答率が高い傾向が見られる。

(3) 改善の方策

- ◇各学校の教育課程の「図書館教育全体計画」に、①「読書センター」「学習・情報センター」の機能をもつ図書館環境整備、②学校図書館を活用した授業実践を推進する校内体制づくり、③児童生徒の読書量の増加と読書の質の向上の取組の3点を位置づけ、一層の推進を図る。
- ◇授業において、社会のことがらに「不思議だな」「おもしろいな」などの実感を持つ話題を提供し、教材の工夫を行う。
- ◇実生活や社会の問題を解決する学習を位置づけ、課題の解決のために必要な情報の収集に新聞を含め、読み取った情報を根拠に自分の考えをつくる学習を推進する。

6 学校質問紙調査結果について

(1) 学校質問紙調査結果の概要（数値は肯定的回答の割合 %）

※色つき：全国値より5ポイント以上高い

※太線枠：全国値より5ポイント以上低い

【児童・生徒の学習状況】※「学びに向かう力」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
児童生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	83.4	88.4	89.4	100.0	89.7	94.6

【授業改善・学習指導】※「主体的・対話的で深い学び」「新大分スタンダード」に関連

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
⑩課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか	77.8	88.1	83.6	100.0	79.5	80.8
習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。	94.5	96.4	93.0	100.0	94.5	92.6
⑪学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	100.0	98.8	96.5	100.0	98.4	95.0

【授業改善・学習指導：算数・数学に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	72.2	82.4	78.0	75.0	77.2	72.1
計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	94.4	98.4	96.7	100.0	97.7	96.2
習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか（年間の授業のうち、およそ2分の1以上）	38.9	32.6	35.2	33.4	36.2	28.6
習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を取り扱いましたか（年間の授業のうち、およそ2分の1以上）	38.9	23.6	25.7	16.6	30.0	22.9
発展的な学習の指導を行いましたか	88.9	78.9	64.5	91.7	69.3	66.5
補充的な学習の指導を行いましたか	100.0	99.2	94.3	100.0	94.5	91.4

【授業改善・学習指導：理科に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	83.3	87.7	85.7	91.6	91.3	90.7
⑩児童の好奇心や意欲が喚起されるよう工夫しましたか	94.4	97.6	96.1	100.0	97.7	97.7
自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか	88.9	90.1	86.5	83.3	77.2	73.0
観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	100.0	97.6	96.0	100.0	92.9	94.3
発展的な学習の指導を行いましたか	72.3	70.9	56.5	100.0	77.9	69.0
補充的な学習の指導を行いましたか	83.3	83.7	66.5	83.3	88.2	85.2

【開かれた教育課程について】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
⑨指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか。	94.5	97.6	96.0	91.6	89.8	84.6
⑨教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	88.9	83.3	90.6	58.3	75.6	85.2

(2) 学校質問紙の調査結果をふまえて

①分析結果と課題

【小学校】

- 「学習指導・授業改善」に関連する質問事項の多くで、全国値と同程度となっており、新大分スタンダードに基づく授業改善が安定した取組となっている。
- 算数における「発展的な学習の指導」「実生活における事象との関連を図った授業」の数値が、大きく向上している。昨年度までの課題であった算数での活用する力の向上に向けた指導の改善が進んできている。
- 「開かれた教育課程」に関連する項目が全国と同程度となっている。学習指導要領改訂に伴い、学校・家庭・地域が連携・協働した取組を推進する必要がある。

【中学校】

- 「学習指導・授業改善」に関連する質問事項の多くで高い数値となっており、全国値と同程度以上となっている。補充学習・家庭学習の改善に続き、新大分スタンダードに基づく授業改善の徹底が進んできている。
- 前年度までの課題であった、数学における「発展的な学習の指導」「実生活における事象との関連を図った授業」の数値が改善し、全国値を大きく上回った。校内の教科部会、近隣の学校による合同教科部会による組織的な取組が効果を上げている。

- 「開かれた教育課程」に関連する項目において、「教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている」の数値が全国を下回っている。学習指導要領改訂に伴い、学校・家庭・地域が連携・協働した取組を一層推進する必要がある。

(3) 改善の方策

- ◇「新大分スタンダード」の視点にもとづく授業改善の一層の充実により、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の取組を、小・中学校の全教科・全教員で推進する。
- ◇児童生徒の「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力」を向上させるために、B問題等を活用した授業実践の実施回数と授業の質の向上を図る。
- ◇つきたい力を明確にした授業と連動した、家庭学習、テスト（定期考査）、補充学習の効果的な取組への学校全体として改善・工夫を図る。
- ◇中学校では、校内の教科部会や近隣の学校との合同教科部会を機能させ、授業改善等による教科指導力の向上の取組を具体的に進める。

7 現状と分析

【小学校】

<現状>

(1) 平均正答率

- 全教科区分（国語A、国語B、算数A、算数B、理科）で全国を上回った。

(2) 教科領域・問題内容

- 国語Aは、全領域・事項で全国を上回った。「文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書く」に課題が見られる。
- 国語Bは、2領域1事項で全国を上回った。「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く」に課題が見られる。
- 算数Aは、全領域で全国を上回った。「除法で表すことができる二つの数量の関係」に課題が見られる。
- 算数Bは、全領域で全国を上回った。「棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断する」に課題が見られる。
- 理科は、全区分で全国を上回った。「太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用する」に課題が見られる。

(3) 児童質問紙

- 「算数の勉強が好き・分かる」「理科の勉強が好き・分かる」は全国と同程度。
- 「学習状況」の多くの事項で全国と同程度。

(4) 学校質問紙

- 「授業改善・学習指導」の主体的・対話的で深い学び」「新大分スタンダード」に関連する質問項目の多くで、全国値と同程度。

<分析>

- 平成27年度以降、学力の定着は良好な状況であるものの、伸び悩んでいた活用する力を含め、今年度3年ぶりの実施であった理科を含め、全ての教科区分で全国を上回った。また、各教科のほとんどの領域でも全国を上回った。課題であった算数Bの記述式解答の問題の正答率が向上している。授業における評価規準を具体的に設定し、つきたい力を確実に身につけさせるきめ細かな指導の改善が進んでいることが要因と考える。

- 小学校では、県教委が進める「新大分スタンダード」に基づく授業改善の取組を推進している中で、算数の「知識・技能を活用して実生活の様々な問題を解決する授業」の実施の頻度を増やし、「算数の説明の基本パターン」を活用した授業の推進が、算数の活用する力の向上の要因と考えられる。
- 平成29年度の本調査において国語の活用する力の不足が明らかとなり、この課題を受けて、各学校での「実生活につながる力の育成」に焦点を当てた授業改善が進んだことが、今年度の好結果につながったと考える。
- 算数は、活用する力の更なる向上に向け、日常生活の問題の解決のために、見通しもち、筋道を立てて考え、表現する授業を充実する必要があると考える。「算数の説明の基本パターン」を活用して説明する授業の一層の推進を図る必要がある。
- 理科は、実生活の事象との関連を図り、自然の事物・事象に対する、児童の好奇心や意欲が喚起される手立てを工夫する授業改善の充実を図る必要がある。
- 質問紙調査の「自分には、よいところがあると思いますか」の項目が昨年度から8.8ポイント向上した。各学校が学力向上の手だてを、児童にとって「分かる」「できる」「楽しい」と実感できるように改善や工夫を図ったことが、児童の自己肯定感の向上につながり、学力の定着・向上に効果をもたらしたと考える。

【中学校】

<現状>

(1) 平均正答率

- 全教科区分（国語A、国語B、算数A、算数B、理科）で全国を上回った。

(2) 教科領域・問題内容

- 国語Aは、全領域・事項で全国を上回った。「目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く」に課題が見られる。
- 国語Bは、全領域・事項で全国を上回った。「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」に課題が見られた。
- 数学Aは全領域で全国を上回った。「一次関数の意味」に課題が見られる。
- 数学Bは2領域で全国を上回った。「発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直す」に課題が見られる。
- 理科は、全区分で全国を上回った。「風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能の活用」に課題が見られる。

(3) 生徒質問紙

- 「数学の勉強が好き・分かる」「理科の勉強が好き・分かる」は全国と同程度。
- 「学習状況」の多くの事項で全国と同程度。

(4) 学校質問紙

- 「授業改善・学習指導」の主体的・対話的で深い学び」「新大分スタンダード」に関連する質問項目の多くで、全国値と同程度以上。

<分析>

- 平成27年度以降、平均正答率全国比は、国語A99～101、国語B98～101、数学A96～104、数学B89～100と年々上昇している。また、3年ぶりの実施の理科も96～104へと上昇した。長年の課題であった数学A・Bがともに全国値に到達したことの意義は大きいととらえている。これは、学力向上の3本柱である授業改善・家庭学習・補充学習の取組が、中学校にも根付き、組織的な取組へと着実に定着してきた結果であると考え。今後は、安定した力となるよう、継続して徹底を図る必要がある。

- 今年度の中学校3年生を小学校6年生からの推移で見ると、小6・中1・中2の学力調査では、ほとんどの教科で全国平均を上回っていたが、小6の全国調査で算数Bが全国値を下回っていた。今回のその数学Bが全国平均を上回ったことから、中学校1・2年生段階での家庭学習・補充学習と併せて授業改善が確実に進んでいると考える。
- 国語A・Bともに、2年連続で全国値に到達しており、目的に応じた言語活動を位置づけ、情報の中から必要な内容を選び、伝えたいことが確実に伝わるよう構成や記述を工夫する活動の充実が進んできていると考える。
- 数学の思考力・表現力・判断力等の活用する力の向上については、「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する授業」を「数学の説明の基本パターン」を活用して説明する授業の一層の推進を図る必要があると考える。
- 理科は、質問紙調査の理科の項目の多くで平成27年度調査から数値が向上しており、生徒の理科に対する学習意欲の向上が、数学の学力向上につながっていると考える。身近な事物・現象から問題を見だし、科学的に探究する活動を充実させる必要があると考える。
- 質問紙調査は、この数年、数値が大きく伸びてきたが、今年度は全国値と同程度以上の結果となり、安定している。授業改善・補充学習・家庭学習の学校全体による組織的な取組へと改善が確実に進み、生徒の「学びに向かう力」の向上につながっていると考える。

8 課題

【小学校】

- つけたい力を明確にした「新大分スタンダード」に基づく「1時間完結型」の授業改善の徹底により、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ること。
- 基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な展開の授業の充実により、思考力・判断力・表現力等の活用力の向上を図ること。
- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の実践により、児童生徒の学びに向かう力（「教科の勉強が好き」「教科の勉強が分かる」等）を高めること。
- つけたい力を明確にした授業と連動した家庭学習と補充学習の組織的な取組を推進すること。

【中学校】

- つけたい力を明確にした「新大分スタンダード」に基づく「1時間完結型」の授業改善の質の向上と問題解決的な展開の授業の充実により、基礎的・基本的な知識・技能の定着及び思考力・判断力・表現力の向上を図ること。
- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の実践により、児童生徒の学びに向かう力（「教科の勉強が好き」「教科の勉強が分かる」等）を高めること。
- つけたい力を明確にした授業と連動した家庭学習と補充学習の組織的な取組を推進すること。
- 学校規模に応じた教科部会及び合同教科部会の充実を進め、教科の指導力の向上を図ること。

9 今後の取組

【小・中学校】 ※下線は今年度からの新しい取組

- (1) 学力向上に係る3つの柱（授業改善・補充学習・家庭学習）による取組の推進

①授業改善

- 新学習指導要領への移行を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進。
- 単元や題材の内容や時間のまとまりを見通した授業の実践。
- つけたい力を明確にした評価規準を設定し、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を適切に位置づけた授業改善の徹底。
- 教科の特質に応じ、基礎的・基本的な知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力等の活用力を向上させる課題を位置づけた問題解決的な展開の授業の徹底。
- 「努力を要する状況」「十分満足できる状況」の児童生徒への具体的手立てを位置づけた授業の推進。
- 算数・数学の指導において、全国調査のB問題等を活用した「知識・技能などを実生活の様々な場面に活用する力」等を育成する授業を実施する。

②補充学習

- 授業と連動させ、学力の定着が十分でない児童生徒に対し、補充学習や個別指導を推進する。

③家庭学習

- 授業と連動させ、学力の定着につながる家庭学習の内容や取り組み方の工夫改善を図る。
- 学力向上に向けた学校・家庭・地域の協働による「重点的取組」「取組指標」を設定して取り組み、学校運営協議会や学力向上会議で成果・課題の検証・改善を行う。

(2) 学力向上の目標達成に向けた組織的な取組の推進

- 「学校評価の4点セット」と連動させた「学力向上プラン」「授業改善の5点セット」「授業改善計画(校内研究推進計画)」の取組状況を、年間3回(学期末)のPDCAサイクルによる検証・改善を繰り返し、全教員が組織的に協働した取組を進める。
- 「授業改善の取組」「補充学習の取組」「家庭学習の取組」「家庭・地域との協働の取組」において、客観的な検証が可能な取組指標・検証指標により検証・改善を図る。

(3) 学力調査(全国・県・市)結果の分析と具体的対策の徹底

- 各学校において学力調査(全国・県・市)結果を分析し、課題の解決に向けた具体的な対策を授業改善・補充学習・家庭学習で作成・実施し、検証する。
- 各学校において調査問題(全国)を解いて改善策を見出す研修を実施する。

(4) 学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員による取組の推進

- 学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員による本務校及び兼務校での、授業観察による授業改善と公開授業により、日田市小・中学校教員の指導力向上を図る。(市内全教職員が年間1回以上参観)

(5) 校種を越えた公開授業・研究会等への参加による授業力の向上

- 他校種の公開授業・公開研究発表会・研究会等に年間1回以上参加する。

【中学校】 ※下線は今年度からの新しい取組

(6) 「中学校学力向上対策 3つの提言」の推進

- 学校規模に応じ教科部会及び合同教科部会を1・2学期に各3回以上の実施を目標にして取り組む。
- 学校が目指す授業像を生徒と共有し、それに向かう学習集団としての目標設定と振り返り活動の取組の推進(例:「チャンス t h e 自分、チャレンジ t h e 自分、チェンジ t h e 自分」)

(7) 英語検定（中学校）の推進

○英語検定を全中学校で実施し、チャレンジ精神の高揚と学習意欲の向上とともに、基礎学力の定着を図る。

(8) 研究指定校の取組の推進

○国研教育課程研究指定校事業指定校（東部中）、県指定「中学校学力向上対策3つの提言」推進重点校事業指定校（北部中）の取組を推進し、成果を日田市中学校へ普及させる。

【学校外での学習支援体制】

(9) 「中学生学びアップ事業（休道水曜塾・立志土曜塾）」の推進

○数学の基礎的・基本的内容の定着を目的に、毎週水曜日の放課後に、中学1・2年生を対象とした「休道水曜塾」を実施する。

○数学と英語の学びの場を設け、生徒の学習支援と学ぶ意欲の向上を目的に、毎月第2・第4土曜日に市内2会場で、中学2年生を対象に「立志土曜塾」を実施する。

<用語の説明>

「新大分スタンダード」（※大分県教育委員会ホームページ）

…基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着に加え、「学びに向かう力」と「思考力・判断力・表現力」の育成を目指す授業の在り方。（①「1時間完結型授業」②「板書の構造化」③「習熟の程度に応じた指導」④「生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開の授業」の4つ）

「授業改善の5点セット」（※学力向上プランに含む。日田市の各学校のホームページ）

…学校の組織的な授業改善に向けて、マネジメントサイクル（PDCAサイクル）を実働させるために作成する様式。（【①授業改善テーマ】【②授業改善の重点】【③取組内容】【④取組指標】【⑤検証指標】の5点）

「日田市学力向上アクションプラン」（※日田市教育委員会ホームページ）

…学力向上に向けての日田市全体の行動計画

「学力向上プラン」（※日田市の各学校のホームページ）

…「授業改善」「補充学習」「家庭学習」の3点に重点を置いた学力向上に向けての学校全体の行動計画

「学校評価の4点セット」（※日田市の各学校のホームページあるいは学校便り等）

…校長のリーダーシップの下、学校教育課題の解決に向けて組織的に取り組むために、重点目標を焦点化・具体化した上で作成する様式。（【重点目標】【達成指標】【重点的取組】【取組指標】の4点）